

東海村定例議会が8月31日に開会し、9月7日から9日まで一般質問、13日から15日までと17日に決算特別委員会、22日に議案審議の日程で行われました。平成21年度一般会計決算額は、歳入19億9648万2千円、歳出19億6018万9千円。一般会計ほか平成21年度すべての会計の歳入歳出決算を認定しました。一般会計補正予算は、歳入歳出にそれぞれ4億3233万8千円を追加し、175億9374万8千円となりました。主なものとして、沼小学校プール解体工事（1100万円）、保育所ほか村内5か所におむつ交換台設置（100万円）があります。

●村長提出議案等

平成21年度東海村一般会計継続費精算報告書等の報告関係5件、一般会計補正予算の専決処分の承認1件、東海村医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例等の条例関係3件、一般会計補正予算等の補正予算10件、白方小学校旧校舍解体工事等の工事請負契約の締結3件、前谷津公園用地と

東海村介護保険事業特別会計

(1) 介護保険事業勘定は18億7542万円と前年度比11.7%の伸びであり、一般会計からの繰入金は4億560万1386円と49.2%の大幅増である。しかし、介護保険料の収入未済額は947万9790円(11.4%増)となり、不納欠損額も244万7270円(31.3%増)と前年度に比べいずれも増加している。当制度は相互扶助で成り立っていることから、滞納者には十分な理解を求め、保険料徴収に一層の努力をされたい。

水戸・勝田都市計画事業東海駅西土地区画整理事業特別会計

(1) 昭和48年に事業計画が決定されてから、36年が経過しているの、早期清算に向けてさらに努力されたい。

水戸・勝田都市計画事業東海中央土地区画整理事業特別会計

(1) 当事業の完工予定は平成33年度であるが、21年度末の進捗率は39.3%で完工に程遠い。これからの工事は起伏にとんだ箇所など難工事が多い。事業経費節減、事業期間短縮の上からも、また緑地、自然環境保持の上からも、関係地権者との慎重な話し合いに留意しつつ、単年度の事業量を増やすとともに事業計画の見直しを行い、地域住民の期待に応えるべきである。

水戸・勝田都市計画事業東海村公共下水道事業特別会計

(1) 下水道使用料の収入未済額は2772万5953円(26.5%増)であり、内訳は現年度使用料が1174万3701円(14.6%増)、滞納繰越分が1598万2252円(37.0%増)と大幅に増えている。関係部署の責任分界があいまいであり、このような状況では

滞納整理は進まない。今後、滞納整理や時効対象者減に向けた組織体制の見直しや、事務処理・滞納対応等に問題はないかなどを検討する必要がある。

企業会計 //  
特に留意すべき事項

東海村水道事業会計

- (1) 水道未収金は5201万8628円であり、前年度に比べ282万653円(5.7%)の増となっている。滞納整理には一層の努力をされたい。
- (2) 久慈川の水源を最大限利用して、安心して飲める水の確保に努力されたい。

東海村病院事業会計

(1) 病院事業収益は13億5843万8658円、また、事業費用は13億4074万8180円で、病院事業収益は前年度比1738万10円の減であるが、医業収益は前年度比566万4960円の増となっている。これは入院患者数の増によるものであって、外来収益は逆に1117万6106円の減となった。この原因は常勤医師の減少にあり、特に耳鼻咽喉科、整形外科に大きな影響が出ている。地域医療振興協会委託当初に計画していた常勤医師13名を確保し、外来患者増に転じる努力をするなど、住民サービスの観点からも常勤医師の確保に全力を挙げるべきである。

平成21年度特別会計決算特別委員会

委員長	土尻	滋		
副委員長	川崎	篤子		
委員	猫塚	豊治	鈴木	昇
	井坂	成子	豊島	寛一
	相沢	一正	村上	孝
	舛井	文夫		